

第7回（平成20年度）IODP 部会・執行部会 議事録（案）

日時:2009年1月6日(火) 14:30~17:30

場所:海洋研究開発機構東京事務所 大会議室

出席者(敬称略)

執行部:川幡穂高(東京大学) 阿波根直一(北海道大学) 荒井晃作(産業技術総合研究所)
安間 了(筑波大学) 池原 実(高知大学海洋コア総合研究センター)
井上麻夕里(東京大学海洋研究所) 小平秀一(海洋研究開発機構)
坂本竜彦(海洋研究開発機構) 高澤栄一(新潟大学) 日野亮太(東北大学)
山崎俊嗣(産業技術総合研究所) 山本啓之(海洋研究開発機構) 山田泰広(京都大学)

文部科学省海洋地球課 :堀 正彦
海洋研究開発機構 国際課 :花田晶公 肥田慎司
海洋研究開発機構 CDEX :江口暢久

事務局:中山敦志 加賀谷一茶 *梅津慶太 (*議事録)

欠席者(敬称略)

執行部:北村晃寿(静岡大学) 松本 剛(琉球大学)

議事次第

1. 乗船研究関連

- ・ Exp. 324 Shatsky Rise 航海募集状況
- ・ その他航海

2. SAS 関連

- ・ SPC 代理委員選出
- ・ SSEP 委員選出(公募中 〆切:1/28)

3. 学術交流関連

4. 国内における系統的コアキュレーション体制の構築について

5. IODP 地下構造探査支援の現状について

6. INVEST 関連

- ・ 国内各テーマ WS 開催報告
- ・ 国内全体 WS 開催準備状況報告
- ・ INVEST 会議準備状況報告

7. 次期執行部体制について

8. 普及広報関連報告

- ・ 来年度 IODP 普及キャンペーン開催地について
- ・ ECORD Distinguished Lecture Program 招聘国募集について
- ・ IODP-USIO 主催 School of Rock Teacher Research Program Experiences への日本人参加について

9. その他

- ・ 次回執行部会日程 等

議事録（案）

1. 乗船研究関連

事務局より報告がなされた

- Exp. 324 Shatsky Rise 航海募集状況
- その他航海
 - INVEST 国内全体ワークショップ時に現状を話す。掘削航海地点プロット
 - 次期執行部では研究費などについて検討してもらうように要請したい

2. SAS 関連

川幡部会長および事務局より、資料 2-1、2-2 に基づき説明がなされた

- SPC 代理委員選出
 - 川幡部会長より高澤委員が推薦され、高澤委員が出席可能かどうか検討することとなった(大河内委員の代理)
 - 熊谷氏、道林氏の順に出席を打診することが決定された(松本委員の代理)
 - 新規 SPC 委員について、IFREE の末次氏を推薦したい旨を Mori 氏に確認し、前向きな回答を得た場合、巽氏、末廣氏経由で打診を行うことが決定された
- SSEP 委員選出(公募中 〆切:1/28)
 - 稲垣委員に微生物関係で適任者がいるかどうか事務局より確認を行い、道林氏(英語が堪能であるため)に打診する用意があることを伝えることが合意された

3. 学術交流関連

- 日／独掘削科学研究交流推進制度の準備状況について
川幡部会長より資料 3-1 に基づき説明がなされた。
 - 事務局より徐氏と北里氏に確認を行うことが合意された
- IODP/J-DESC シンポジウムの開催検討について
阿波根部会長補佐より説明がなされ、以下の点が合意された
 - J-DESC の定例総会と同日開催を検討する
 - 通例総会と同日に行う執行部会を 3 月に開催する

4. 国内における系統的コアキュレーション体制の構築について

池原委員より資料 4 に基づき説明がなされた

- 高知コアセンターにおいて、IODP のコア試料とは別に JAMSTEC の船舶によって採取されたコア試料のキュレーションを行う準備が整った
- これらを有効活用するために J-DESC に協力の要請があった

以下合意文章

- コア試料キュレーションについて非常に大切であることに関しては全員が共有している
- JAMSTEC 所有のコアはこのシステムでの管理キュレーションに関してはポジティブである
- ICDP やその他の国際プログラムの試料については、所有権に関して議論を詰める必要がある
- その他の船(淡青丸、白鳳丸、JOGMEC、AIST)の試料は所有権の取り扱いが難しいかもしれないとの危惧が呈された
- 岩石試料については積極的に管理してほしい
- JAMSTEC 内での試料の管理とデータの管理(画像などを含む)との整合性がなされているかについて

て疑問がある

- 他機関で採取した試料について所有権を移した際の使用权が不明であるため、明確にしてほしい
- ICDP 試料のキュレーションを行うことに名乗りを上げてほしい→陸上部会へ申し送り

5. IODP 地下構造探査支援の現状について

小平委員より試料 5-1、5-2 に基づき、説明がなされた。

- 事前調査に関するアンケートは 1 月末〆切で募集中(現時点で回答なし)
- 必要な調査に関して技術的コメントを含めた回答を事前調査検討専門部会で 2 月に作成
- 事前調査部会で作成されたコメントを踏まえ、掘削研究専門部会にて推薦文書を作成し、アンケート回答者に送る

6. INVEST 関連

- 国内各テーマ WS 開催報告
資料 6-1 に基づき、各世話人より報告がなされた
- 国内全体 WS 開催準備状況報告
資料 6-2 に基づき、川幡部会長より報告がなされた
- INVEST 会議準備状況報告
資料 6-3、6-4 に基づき、事務局より報告がなされた

7. 次期執行部体制について

川幡部会長により説明がなされた。

- 川幡部会長より山崎委員に次期部会長への就任の要請があり、山崎委員が要請を受け入れた
- 山崎委員(次期部会長)より挨拶がなされた
- 最終的な承認は会員総会で行われる

8. 普及広報関連報告

- 来年度 IODP 普及キャンペーン開催地について
事務局より報告がなされた。
 - メールにて来年度開催機関の検討を行う
- ECORD Distinguished Lecture Program 招聘国募集について
資料 7-1 に基づき、事務局より説明がなされた。
 - 今回の招聘は見送ることが合意された
 - 韓国や中国に J-DESC から講演者を派遣し、IODP の講演を行うことを考えてもよいかもしれない
- IODP-USIO 主催 School of Rock Teacher Research Program Experiences への日本人参加について
資料 7-2 に基づき、事務局より説明がなされた。
 - Equatorial Pacific に引き続く Juan de Fuca において高校の先生を船に乗せて乗船研究体験を行うプログラム
 - いずれ日本でこのようなプログラムを行うことを前提として、その情報収集のために J-DESC の費用で人を派遣することもよいかもしれない
 - この件についてはもう少し検討を行うことが合意された

9. その他

特になし

- 次回執行部会日程 等
2月16日